

平成30年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473500591	事業の開始年月日	平成17年8月1日
		指定年月日	平成29年8月1日
法人名	株式会社 保健科学研究所		
事業所名	グループホーム さくら園		
所在地	(〒244-0845) 神奈川県横浜市栄区金井町1600		
サービス種別 定員等	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成31年3月22日	評価結果 市町村受理日	令和1年5月15日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

園の周りは自然があふれ、春にはさくらが咲き誇り、うぐいすが鳴き、動物にもたくさん出会える、昔ながらの懐かしい環境にあるグループホームです。又、町内の消防団合同の防災訓練や、町内行事にも積極的に参加しており、地域に融合した施設づくりを心がけております。顔なじみの関係ができる様、職員が一丸となり、これからも益々、地域密着に励んで参ります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成31年3月26日	評価機関 評価決定日	令和1年5月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】
◇理念「地域との融合」の実践
・毎年、町内会と合同で避難訓練を行っている。バーベキュー大会、クリスマス会など事業所行事には多くの近隣住民が参加したり、手伝ってもらっている。地域の祭りでは事業所駐車場を神輿の休憩所として提供して麦茶を振る舞い、利用者も祭りを楽しんでいる。事業所や利用者は地域の一員として受け入れられ、散歩や外気浴の際には地域の人たちからの声かけや見守りがある。
◇利用者を良く知る職員による安定した支援
・法人や管理者に職員の意見を尊重する姿勢があり、職員は意欲的に支援に取り組んでいる。また、職員の多くが近隣住民であることもあり、職員の定着率が高く、利用者一人一人を良く知る職員による安定した支援が行われている。

【事業所が工夫している点】
◇かかりつけ薬局の協力を得て、薬袋の色付け、セッティング、2人体制での服薬介助、飲み終えた薬袋の確認など、詳細な手順を定め、誤薬防止に努めている。
◇ヒヤリハット報告を「月間日常危険因子情報収集シート」への簡便な記載に変更したことで職員が軽微な事例も気軽に記録するようになった。収集した情報は毎月分析して対策を講じ、支援の向上に役立てている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム さくら園
ユニット名	ひばり

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に沿って、年間の園目標を職員で話し合い、作成し、玄関に掲示しています。	・理念を玄関ホールに掲示し、毎年理念に沿った目標を設定している。 ・職員は出勤時に利用者一人一人と挨拶してから仕事に入り、地域や事業所の行事では地域と協力し合うなど、理念「人格の尊重・地域との融合」の実践に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩等において自然に地域の方と関わることも多く、ご利用者様をはじめ、スタッフの顔も覚えていただき交流を図っています。	・事業所の行事には多くの近隣住民の手伝いや参加したり、手伝ってもらっている。 ・地域の祭りの神輿休憩所として事業所駐車場を提供し麦茶を振る舞い、利用者も祭りを楽しんでいる。 ・利用者は散歩や外気浴の際に地域の人たちと交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に1度の消防訓練など、年々地域の方の参加も増え、直接ご利用者様と関わる機会も増えています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一度開催。行政ご家族様、地域の方々などと意見交換ができています。	・2か月に1回、家族代表、町内会役員、地域包括センター職員、栄区担当課職員に集ってもらい、事業所は活動報告を行い意見を聞いている。 ・地域や事業所行事の情報を交換している。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	空室が出た際は、区役所、ケアプラザへの連絡を密にしています。	・運営推進会議で地域包括支援センターや栄区担当課職員に事業所の活動を報告し、議事録を栄区担当課に送っている。 ・支援が難しい場合は、地域包括支援センターに状況を説明し相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全面を第一に考え、ユニット出入口、一箇所浴室、薬庫への施錠をしています。	・管理者が3か月に1回の法人身体拘束等適正化対策検討委員会に出席し、事業所内で報告研修を行っている。 ・利用者個々の状況にあった安全確保の方法を検討し、身体拘束をしないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修の年間課題のひとつとして、ユニット会議などにて勉強会を設けています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度では現在ユニットで1名、他ユニットで3名利用されています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者、ケアマネージャー、ユニットリーダー同席の上、契約を結んでいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を2ヶ月に1度実施し、行事や地域、日頃の様子を伝えている。	・運営推進会議や面会の際に聞いた家族の意見を運営に反映している。 ・家族の意見から、今年度はお花見に遠出をせず、庭での食事会とした。また、家族の申し出から折り紙などのリクレーションを企画し、実施できた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りやユニット会議にて話し合いの機会を設けています。また、それを業務に反映させる様、努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・法人として毎年各事業所職員の改善活動発表の場を設け、表彰するなど職員の意見を生かしている。 ・職員の提案で引継ぎを確実にするため、ユニット内の「その日のできごと」を記録することとした。 ・管理者は職員の提案を業務の改善に役立てている。 	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見が反映される場面作り。やりがいや、やる気を損なわないような職場環境作りを心がけています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間予定表に基づき、内・外部研修に参加することで、質の向上に努めている。又、個々の特技や能力を生かすような仕事配分をしています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	系列のGHや小規模多機能に研修を兼ねたお手伝いに行く等、自身のスキルアップや質の向上につながっています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前は、必ずご本人様とお会いし、日頃の様子等、ご家族様より伺い、入所後のケアがスムーズに行なえるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会に来られたとき等、日頃の様子をお話させていただいています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様と良く話し合い、情報収集に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員間で情報を共有し、本人が過ごしやすい場を提案できるよう努めます。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者様一人ひとりが家族の一員となるよう、良い関係を築いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様は元より、ご友人、知人など気軽に面会できる場を心がけています。	<ul style="list-style-type: none"> ・面会の際にはお茶を出して寛いで過ごせるよう、また家族との外出や外泊には情報交換を密にして安心して過ごせるよう支援している。 ・職員は面会者に明るく丁寧に接し、家族や知人が立ち寄りやすい雰囲気づくりに努めている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様の変化など常に把握し、生活の中にも変化を取り入れています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	機会があれば、退所後においても、面会、訪問させて頂いています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	必ず声掛け、一人ひとりに笑顔で話しかけます。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のペースに合わせた丁寧な会話や様子の観察で意向の把握に努めている。散歩や入浴の際など利用者と1対1で過ごす時間にはゆっくりと思いを聞いている。 ・今年度は利用者から聞いた希望を「希望宣言」として掲示する取り組みを行った。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前にはご家族様から十分な話し合いの時間を作って頂き、少しでもご本人様の様子の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送り、スタッフ間での情報の共有には、常日頃から心がけています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン、日々のモニタリングにて、その日の様子、状態をチェックし、次のプランへの情報につなげています。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、利用者の様子やモニタリング結果を記録し月1回ケアカンファレンスを行っている。 ・原則6か月ごとに、アセスメントを行い、利用者や家族の意見、医療関係記録などをもとに、3か月の短期、6か月の長期目標を設定した介護計画を作成している。 	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の気づきを記録し、情報を共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	頻繁に来園される方が2名、外出される方は1名ほどいらっしゃいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方との触れ合いを大切にし、園の行事に誘致しています。(バーベキュー等)又、毎年9月祭礼に参加させて頂く等、地域の一員となれるよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科医の往診、必要に応じて他病院への連携を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者は事業所の協力医をかかりつけ医とし、月2回の訪問診療や必要に応じた専門医紹介を受けている。24時間の往診、相談体制がある。職員と医療関係者は「往診、訪問看護記録」で情報共有している。 ・必要に応じ協力歯科医による週1回の訪問歯科診療が受けられる。 	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問介護にて訪看ノートとして状態や様子の変化、処置に関して伝えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	直接面会し、本人の様子を確認、ナースやドクターからも話を聞くように努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所前にご家族様より話をされる機会もありましたが、現状ユニットではありません。他ユニットでは1件ありました。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時に、事業所の「重度化対応指針」を説明し、同意書を受け取っている。 ・重度化した場合は、本人の状況に変化がある都度、医師を交えて本人や家族と話し合い、事業所で対応できること、できないことを伝え、意向に沿って支援している。 	利用者から希望があった場合はいつでも対応できるよう、看取り介護に関する情報の収集、心構えや事例を含めた定期的な研修および事業所の体制作りが期待されます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練などで応急処置、AEDの実践訓練を実施。ご利用者様の個々の緊急ファイルも作成しているので、情報をすぐに伝えられます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署、消防団の協力の下、毎年訓練を実施。他施設への避難受け入れ要請も取り交わしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、消防署の協力を得て、入居者全員と近隣住民、消防団が参加して避難訓練を行っている。 ・町内会と「消防応援協力に関する覚書」を交わし、災害時の相互協力体制を構築している。 ・水、食料は3日分、おむつ、発電機ほか防災用品を備蓄している。 	数量や保存期限を記載したリストを作成し、備蓄品を管理することが望まれます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様＝お客様であることを念頭に、声掛けや言葉使いにも常日頃より節度ある対応を心がけています。	・人格の尊重など職員が利用者に対して心掛けるべき事項を箇条書きにして貼り出し、実行している。 ・個人情報保護方針を定め、個人情報に関する研修を毎年行っている。個人情報を含んだ書類は、鍵のかかる書庫で保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	現在、ご自分の気持ちを表せる方と、そうでない方、職員の接し方や言葉かけで、少しでも気持ちを開いてくださるよう努力しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者間のトラブルを回避、会議などで話し合い、検討を重ねています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時、起床時の着替え等、ご自身で選び、着替える事ができる方はいらっしゃいません。その分、スタッフがその人らしさを表せるような服装をお選びしております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方に合った食事形態にし、同じメニュー、同じ味で食事を楽しんで頂けるように支援しています。	・食事前に嚥下体操でパタカラの歌を歌ったり、職員と話をしたりして、一緒に楽しく食事をしている。 ・玄関前の敷地やベンチで、バーベキューをしたり、花見で弁当を食べたり、またクリスマス会でお寿司を出すなど、食事に変化を取り入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を表にして毎日管理しております。極端に減少してきた方においては、ドクターに相談しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力で行える方には声掛け、以外の方は介助。義歯においても週1回洗浄剤にて清潔を保っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間で声掛け、又は介助にて失禁状態のままにならないよう、スタッフが交換、介助。テープ式の方は時間で確認。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の排泄パターンを把握し、排泄チェック表を使って声掛けやオムツ交換を行っている。 トイレへの誘導は、車イスをさりげなくトイレの近くに持って行くなど、一人一人に合ったやり方で行っている。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体を動かす、ラジオ体操、園の近くを散歩する等、適度な運動を心がけ、スムーズな排便に取り組んでいます。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	1日3名を基本に、ローテーションで提供しています。	<ul style="list-style-type: none"> 入浴は1日3名、昼過ぎに行い、一人概ね週2回としている。入浴しない人は1日3名足浴をしている。 入浴をどうしても嫌がる人は、翌日に変更している。 脱衣場にエアコンを設置して寒暖差に配慮している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前中は体操、散歩。午後は歌やレクリエーション。入浴以外の方は、足浴も実施し、水虫などの予防対策に努めています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様ここにチェックシートがあり、複数の職員間での確認に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯ものを畳む、新聞折、食事前の号令等、役割を持っていただくようにしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日課の散歩や、ご家族様との外出。定期通院、外食等、支援させて頂いております。	・好天の日は、車イスの人も含め、職員と一緒に自然豊かな近隣を10～20分散歩している。 ・個別に昼食や買い物、墓参りなどに出かける場合は家族と一緒にいる。また定期的な通院には家族だけでなく職員も一緒に付き添うことも多い。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブルを防ぐためにも、入居時に家族へ説明。現金の持ち込みはご遠慮いただいております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在お手紙を書ける方は方はいらっ しゃいませんが、お電話でのやり取 りは行えています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴 室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を まねくような刺激（音、光、色、広さ、温度な ど）がないように配慮し、生活感や季節感を採り 入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	遠足や園内行事の写真など、ユニッ ト内廊下に貼り出し、楽しんで頂い ています。	・玄関や廊下に、職員と一緒に作っ たお雛様の壁飾りや利用者の希望を 記した桜の花形色紙、沢山の折鶴で 作った冠雪富士山などを壁に貼り、 季節を感じられるようにしている。 ・居間は窓が大きく、畑や竹林、桜 などを眺められて開放感がある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工 夫をしている	お好きな時間に居室でテレビを観た り、リビングで他のご利用者様と一 緒にテレビをご覧になったり、新聞 を読んだり、思いおもいに交流して います。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる	今まで生活してきた中での馴染みの あるものを居室内に置かれ、かけ離 れた空間にならないよう工夫してい ます。	・居室は、エアコン、クローゼット が備え付けられ、利用者は、タンス やイス、テレビ、髭そりなど馴染み のものを持ちこんでいる。 ・壁に、家族写真、書き初めやお雛 様などの本人作品、感謝状などを飾 り、居心地のよい空間にしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わか ること」を活かして、安全かつできるだけ自立し た生活が送れるように工夫している	居室の入り口に名前プレートを。洗 面所(洗面かご)等にも名前を付け、 混乱なく生活できるように工夫して います。		

事業所名	
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎年ユニット会議においてユニットの目標を職員間で話し合い、作成、掲示している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩等において地域と関わる事も多く、ご利用者様を始めスタッフの顔も覚えて頂き交流を図っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	年に一度の消防訓練や行事等にて地域の方の参加も増え、ご利用者様と直接関わる機会を増やし、理解を深めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ご利用者様の相談や空室が出た際は、区役所、地域ケアプラザへの連絡を密にし、日頃より連携が取れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全面を第一に考え、玄関以外、ユニットの出入り口、浴室、薬庫への施錠をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修の年間課題の1つとして、ユニット会議において勉強会を設け、虐待防止への徹底を図っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度は、現在ユニットにて3名、他ユニットにて1名利用されています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者、ケアマネージャー、ユニットリーダー同席の元、契約を結んでいます。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を2ヶ月に一度実施し意見交換を行い、行事や日頃の様子等をお伝えしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日々の申し送りや、ユニット会議で話し合う機会を設け、業務に反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見が反映される場面を作る等、やりがいがいいや気持ち損なわないような職場環境作りを心がけている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間予定表に基づき、内、外部研修に参加することで質の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	系列他GHへの研修を兼ねたお手伝い等に行くことで、自身のスキルアップや質に向上につながっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前は、必ずご本人にお会いし日頃の様子等、ご家族様または入院中の場合は、病院関係者よりお話を多く伺い、入所後のケアがスムーズに行なえるよう話し合いの時間を持っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様の様子は、月に1回のお便りでお知らせしたり面会に来られた時等、日頃の様子をお話させて頂いています。ご家族様の要望等にも話しやすい環境づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族様と良く話し合いし情報収集に努め、ご本人様にあったご提案ができる様に努力しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員間で情報を共有しながら少しずつ、その人らしさを出していただきご本人様が過ごしやすい場を提案できるよう、努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者様皆さんと一緒に暮らす家族と思い、少しでも心の支えになるように努めます。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様、ご友人、知人等が気軽に面会できる場を心がけてます。面会、外出等で関係が途切れないようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者間の様子や変化等を常に考え、コミュニケーションが深まる関わり合い方を心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	機会があれば、退所後においても他施設への面会、訪問をさせていただきます。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	出勤時には、一人ひとりに挨拶、声掛けを心がけています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前には、ご家族様から十分な話し合いの時間を作って頂き、少しでもご本人様の様子の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の申し送りの徹底、スタッフ間での情報の共有には常日頃から心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン、日々のモニタリングにてその日の様子、状態をチェックさせていただき、次のプランへの情報に繋げています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々一人一人の気づきを元に話し合う機会を増やし情報を共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在、ご家族様と関われる方は、3～4名で外泊はもとより、外出できる方は1名ほどです。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方とのふれあいを大切にし、園の行事に誘致しています。（パーベキューやクリスマス会等）		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科医による往診を受け、必要に応じて他病院の連携を図っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護にて、園とナース間に報告ノートを設け、処置や情報、指導を頂いてます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用様に直接面会し、本人の様子を確認したり、担当ドクターやナースより話を聞く機会を作っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所前にご家族より終末期についての話をよく聞かれ説明もしていますが、ユニットでは1件ターミナルを行なっています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	内部研修や、消防訓練にて応急処置、AEDの実践訓練も実施している。ご利用者様個々の緊急ファイルも作成しているのでご利用者様の情報をすぐに伝えられます。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署、消防団との合同訓練を行い協力体制が蜜に図れるよう、関係作りを構築している。他施設への避難受け入れ要請も取り交わしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けや言葉使いも個々に合わせ「親しき仲にも礼儀あり」の精神で対応に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご自分の気持ちを表せる方と、そうでない方、職員の接し方や言葉かけで、少しでも気持ちを開いてくださるよう努力しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様本人のその日の気分や体調を優先に考えています。ご自分の家にいる気持ちで過ごせるよう、支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や入浴時等の着替えをご自身で揃えるのが難しい方等は、ご一緒に揃えるようにしております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方に合った食事形態にし、嚥下体操も毎食前に行い、歌を交えて楽しく食べてもらう工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を表にして毎日管理し、減少してきた方等は、ドクターに相談し栄養補助飲料を処方して頂く等しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、自力で行なえる方は声掛けをし、それ以外の方は見守り、介助をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、時間で声掛けするよう心がけています。全介助、テープ式をされている方は時間で交換しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝のラジオ体操、園外への散歩にて、体を動かして頂き、スムーズな排便に繋がるように支援しています。必要な場合は薬の処方も頂いています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一日3名を基本に、ローテーションにて提供しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体操や散歩、レクリエーション等を楽しまれ、入浴以外の方は足浴を実施して水虫等の病気予防、清潔面にも心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	用法、用量、間違いのない与薬に努めるため、個々に薬のチェックシートを用い複数の職員で確認を行い、与薬に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物をたたんで頂いたり、出来る方に出来ることをお手伝いして頂いています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出を希望される方には、ご家族様ご協力の下、実施されています。 (外食等)		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の使う機会がないことでトラブルを防ぐため、入所時に説明、理解の下、持ち込まないように協力を得ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お手紙のやり取り、電話の取次ぎ等支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	園内行事や遠足の写真等、ユニット内、廊下、壁面に貼り出し、楽しんで頂いています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お好きな時間にお好きな場所で、テレビを見たり、塗り絵をされたり自由な時間を過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今まで生活されてきた中での物を、お持ち頂いたりとかけ離れた空間にならないように工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室や洗面やトイレ等にプレートを付け、混乱なく生活出来るよう工夫しております。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム さくら園

作成日 平成31年4月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りの経験は過去にありますが、年数の経過により、職員も忘れがちである。又、現在重度の方も増えており、今後の為にも知識や技術を備える事が必要と考えます。	看取りの研修に参加し、知識を高めていく。	今年度の外部研修に参加することで、知識を高める。	12か月
2	35	備蓄はしてあるものの、消費期限や個数などをマニュアルには記載していなかった。	個数、期限をリスト管理する。	災害備蓄の担当者を決め、在庫管理を徹底していく。	12か月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。